



2026 年 9 月 28 日

各 位

会 社 名 A p p B a n k 株 式 会 社

代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 白 石 充 三

(コード番号：6177 東証グロース)

問 合 せ 先 管 理 部 長 渡 邊 泰 弘

(TEL. 03-6302-0561)

ジャスミー株式会社との AI・データ領域における共同事業推進に関する
基本合意書締結のお知らせ

－PDL・GPU プールと「AI BANK」を活用し、Money Twin を起点とする
AI・データサービスの段階的な共同事業化を推進－

当社は、ジャスミー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：佐藤 一雅。以下、「ジャスミー」という。）との間で、AI・データ領域における共同事業の企画、開発及び事業化を共同で推進することを目的とした基本合意書（以下、「本 MOU」という。）を締結いたしましたので、お知らせいたします。

両社は、ジャスミー及びジャスミーグループが有する個人情報管理ツール「Personal Data Locker」（以下、「PDL」という。）、GPU プール等のデータ管理・AI インフラ関連技術と、当社が有する AX（AI Transformation）領域におけるサービス開発力、AI メディアプラットフォーム「AI BANK」、メディアやマーケティング機能及びこれらを通じて有するユーザー接点を組み合わせ、個人及び法人が自らのデータを適切に管理しながら、安全性と利便性の高い形で AI を活用できる新たなサービスの創出を目指します。

1. 本 MOU 締結の背景と目的

生成 AI の急速な普及により、AI は企業や専門家だけが利用する技術から、個人の日常生活や企業活動を支える基盤へと発展しつつあります。一方で、個人情報、企業の機密情報、業務データ等を AI で活用する場合には、データを誰が管理し、どの範囲で AI に利用させるのか、また第三者による二次利用をどのように管理するのかといった、データ管理・セキュリティ面への対応が重要となっています。

ジャスミー及びジャスミーグループは、PDL、IoT、ブロックチェーン、GPU 関連基盤等を通じ、本人の意思・許諾を重視したセキュアなデータ管理、データ活用環境の社会実装を進めています。当社グループは、AX/DX 事業、IP&コマース事業、メディア事業を展開し、2026 年から AI ソリューション及び AI マーケティング領域への取り組みを本格化しています。

両社は 2026 年 6 月以降、ジャスミー及びジャスミーグループの技術・インフラ基盤と、AppBank のサービスプロデュース、AI/DX、メディア及びマーケティング機能を組み合わせた共同事業の可能性について協議を重ねてまいりました。その結果、「個人・企業のデータ資産を AI で活用するサービス」及び「本人の意思・許諾を前提としたデータ活用サービス」等を継続的に生み出す共同事業体制を構築することが、両社の事業拡大と企業価値向上につながるとの認識で一致し、本 MOU の締結に至りました。

2. 本 MOU に基づく共同事業の基本方針

本 MOU に基づき、両社は、それぞれの強み及び既存資産を最大限に活用し、可能な限り短期間でサービスを市場投入することを基本方針として、主として以下の領域について共同で検討・事業化を進めてまいります。

(1) 個人・法人向け AI サービス

PDL 等によるデータ管理・統合技術と GPU・AI 技術を組み合わせ、個人又は法人が保有するデータを活用した専用 AI、RAG、AI エージェントその他の AI サービスを企画・開発いたします。個人向けのパーソナル AI、法人向けの企業専用 AI 等、利用目的に応じたサービス展開を検討してまいります。

(2) 「AI BANK」を活用したサービス展開

AppBank が運営する「AI BANK」(<https://ai.appbank.net>) を、共同事業におけるショーケース、情報発信及びサービス提供の主要な接点の一つとして活用し、共同で企画したサービスの紹介、実証、利用申込み、ユーザー獲得及び利用促進等を行ってまいります。

(3) 本人の意思・許諾を前提としたデータ活用サービス

PDL 等を活用し、ユーザー自身がデータの利用範囲を管理・許諾できる仕組みと、AI、マーケティング、コマース等のサービスを組み合わせた新たなデータ活用モデルを検討してまいります。

(4) GPU・AI コンピューティングサービス

個人及び法人に対して、AI モデル、RAG、AI エージェント等を実行するための GPU コンピューティング環境を提供するサービスを検討してまいります。

(5) 専門領域特化型 AI サービス等

金融、クリエイティブ、法務、教育、企業業務等、専門性の高い個別目的に特化した AI エージェントその他の関連サービスについて、利用ニーズ及び事業性を踏まえながら順次企画してまいります。

3. 共同事業の企画第一弾「Money Twin (マネー・ツイン)」

本 MOU に基づく第一弾企画として、両社は「Money Twin (マネー・ツイン)」の企画・開発及び事業化に向けた検討を進めます。Money Twin は、個人の日常生活における金融、資産、消費その他の情報について、利用者自身によるデータ管理及び許諾を前提として AI を活用し、情報の整理・分析や日々の意思決定を支援する、日常生活における「CFO 的存在」としての自分自身の分身となるパーソナル AI を基本コンセプトとするサービスです。

PDL や GPU 技術等を活用することで、利用者が自らの情報へのアクセス範囲を管理し、直接的な個人情報生成 AI への提供を可能な限り抑制しながら、匿名性・秘匿性を高めた形で AI を利用できるサービス設計を目指します。また、照会履歴や結果等についても、利用者が個別に許諾しない限り第三者による再利用を制限できる仕組みを検討します。具体的な機能、取り扱うデータ、生成 AI への情報連携方法、セキュリティ、法令対応、利用料金及び提供時期等については、今後両社で詳細を協議してまいります。

4. Money Twin を起点とした第二弾以降のサービス展開

両社は、Money Twin を単独の AI サービスとして展開するだけでなく、利用者が AI 及びデータを安全かつ継続的に活用するための入口の一つと位置付け、Money Twin の利用者及び「AI BANK」のユーザー接点と、PDL、GPU プール等のジャスミー及びジャスミーグループの技術・インフラ基盤を組み合わせることで、第二弾以降のサービスを段階的に拡張することを検討してまいります。

(1) ポイントサービス

インターネットサービスの利用、購買、AI サービスの利用等を通じて、利用者が無償ポイント（ポイントトークンを含む。以下「ポイント等」）を得ることができる仕組みを検

討してまいります。また、Money Twin や AI BANK の利用者が、自らの意思に基づき一定の利用情報等の第三者提供又はマーケティング利用を許諾した場合に、その対価又はインセンティブとしてポイント等が還元される仕組みについても検討してまいります。これにより、利用者自身がデータ利用を選択し、その価値の一部が利用者に還元されるデータ活用モデルの形成を目指します。

(2) GPU プール利用サービス

オープンな AI エコシステムを活用して AI を高度利用する個人及び法人向けに、安全性と利便性を備えた GPU コンピューティング環境をオンデマンドで利用できるサービスを検討してまいります。将来的には、ポイント等を GPU 利用に充当できる仕組みに加え、マイクロデータセンターや高性能ワークステーション等の計算資源を保有する個人又は法人が、利用していない処理能力を GPU プールに提供し、その貢献に応じて手数料やポイント等を受け取ることができる仕組みについても、技術面・事業面から研究・検討します。これにより、AI コンピューティング資源をより広い利用者・提供者へ開放し、AI の民主的な普及を後押しすることを目指します。

(3) ポイント等を活用した新たなデジタルサービス

Money Twin 及び AI BANK を起点として形成されるポイント等の利用機会を拡大するため、新たなデジタルサービスや参加型サービスへの活用を検討してまいります。その候補の一つとして、グローバルで市場が拡大している予測市場 (Prediction Market) に関連するサービスについても、国内外の法令、規制及びサービス提供条件等を十分に確認した上で、その可能性を研究・検討いたします。なお、予測市場関連サービスは現時点で具体的な提供を決定したものではありません。

(4) 専門領域特化型 AI エージェント

Money Twin で構築するパーソナル AI、PDL によるデータ管理及び GPU・AI 実行環境等を基盤として、クリエイティブ業務、法務業務、企業業務、専門家業務等、特定の目的に高度に特化した AI エージェントを、利用ニーズの高い領域から順次企画・検討してまいります。

【共同事業の拡張イメージ】

Money Twin → ポイント／データ活用 → GPU プール → 専門 AI エージェント → 新たな AI・データサービス

AI BANK を情報発信・サービス接点として、利用者とサービスを段階的に拡大

5. 両社の役割

本共同事業では、両社が保有する既存の技術及び事業資産を最大限活用し、個別サービスごとに両社グループの強みを組み合わせ、最短期間でのサービスリリースを目指して、柔軟に役割分担を行います。

(1) ジャスミー及びジャスミーグループの主な役割

- ・ PDL、本人確認、ID 等統合、データ活用権限管理及び利用許諾等のデータ活用基盤の提供
- ・ GPU プール及び AI 実行基盤、分散ストレージ、暗号化その他の関連インフラの提供
- ・ API、SDK その他の技術接続環境及びエンジニアリングリソースの提供
- ・ 個別サービスに必要なセキュリティ・技術面での支援

(2) AppBank 及び AppBank グループの主な役割

- ・ サービス企画、商品化、サービスプロデュース及び UI/UX・顧客体験の設計
- ・ 「AI BANK」その他のメディアを活用した情報発信、マーケティング及びユーザー獲得
- ・ 法人営業、販売、料金・課金設計、顧客サポート及び事例化
- ・ AppBank グループの技術エンジニアによるシステム・サービス開発への参画

(3) 共同で推進する領域

- ・システムアーキテクチャ、LLM Gateway、RAG／Vector DB 等の接続・権限制御
 - ・ユーザー／テナント単位の水タ分離、利用ログ、監査、セキュリティ及び障害対応
 - ・性能、利用量、利用上限及びコスト設計その他の運用条件
- 具体的な開発費、インフラ利用条件、収益分配、SLA、知的財産権その他の商用条件については、個別プロジェクトごとに協議・決定してまいります。

6. 今後の展開

両社は、本 MOU 締結後、共同プロジェクト体制を構築し、Money Twin を含む初期サービスの企画、技術検証及び事業性の検討を進めてまいります。その上で、AI BANK 等を通じた情報発信、実証及びユーザー獲得を行い、利用状況やユーザーニーズを踏まえながら、ポイントサービス、GPU プール利用サービス及び専門領域特化型 AI サービス等へ段階的に展開していく方針です。

両社は、これらのサービス群を個別に提供するだけでなく、PDL を中心としたデータ管理と GPU・AI コンピューティングを基盤として相互に接続し、継続的に新しいサービスを生み出す共同事業基盤へ発展させることで、個人及び法人が高度な AI を安心して活用できる環境の拡大と、新たな収益機会の創出を目指してまいります。

【ジャスミー株式会社の概要】

会社名：ジャスミー株式会社

所在地：東京都港区北青山一丁目 2 番 3 号 青山ビル 11 階

代表者：代表取締役社長 佐藤 一雅

事業内容：IoT 向けのプラットフォームおよびソリューションの提供

URL：<https://www.jasmy.co.jp/>

【当社の概要】

会社名：AppBank 株式会社

所在地：東京都新宿区新宿一丁目 19 番 10 号

代表者：代表取締役社長 白石 充三

事業内容：IP&コマース事業、メディア事業、AI/DX (AX) 事業

URL：<https://www.appbank.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

AppBank 株式会社 広報担当：info@appbank.net

ご参考資料：「Appbank の AX/DX が捉えている AI ファーストに関する戦略仮説論考」

https://s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/abco.jp/cms/wp-content/uploads/2026/09/28095847/commoditization_intelligence.pdf

※本論考は、現時点で把握が可能となっている公表情報等を踏まえた思考実験としての戦略仮説であり、参照しているデータについて、その意図する解釈方法の正当性などを含めて、当社としてその内容を保証しておりません。また、本論考の内容は、当社が進める事業における影響等については現時点で不明であり、また、当社が将来的に行う事業等について示唆することを目的とせず、純粋な戦略仮説の思考実験となっております。以上をご理解の上、参考資料としてご覧ください。

7. 今後の見通し

今後も、当社独自の展開及び資本業務提携先との協業等を通じて、多くの取り組みを進めていく方針です。なお、当社は業績の予想を非開示としております。本 MOU に基づく協業が当社の業績予想に与える影響は現在精査中であり、開示が必要なことが明らかになっ

た場合は速やかに開示いたします。なお、本 MOU が当社の業績に与える影響は軽微であります。

以上